

フロア案内図

7階	産科、MFICU3床、婦人科	7F
6階	内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科	6F
5階	外科、消化器外科、乳腺外科、泌尿器科、形成外科	5F
4階	内科、循環器内科、眼科、耳鼻いんこう科、小児科、整形外科、病棟リハビリ室	4F
3階	小児科、小児外科、新生児科(NICU21床・GCU25床)、耳鼻いんこう科、形成外科	3F
2階	手術室、ICU、中央検査室、採血室、臨床工学室、食堂	2F
1階	外来診察室(内科、循環器内科、小児科、小児外科、新生児科、外科、乳腺外科、泌尿器科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産科・婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、救急外来など) 各種検査室(CT、MRI、X線、RI、内視鏡、超音波、心電図など)、心血管撮影室、採尿室、中央処置室、化学療法室、放射線治療室、薬局、地域連携室、相談支援センター、栄養相談室、相談室、総合受付・会計、売店、洗濯室、銀行ATM	1F

外来診療受付時間

平日：午前8:30～午前11:30
休診日：土・日曜日、祝・祭日年末年始(12/29～1/3)

交通案内



JR総武線「新検見川駅」より 南口4番乗り場から千葉海浜交通バス

「海浜病院」行で約20分、「海浜病院」下車
「磯辺高校」行、および「稲毛ヨットハーバー」行で約20分、「磯辺8丁目」下車徒歩3分

JR京葉線「検見川浜駅」より 北口4番乗り場から千葉海浜交通バス

「海浜病院」行で約10分、「海浜病院」下車
「磯辺高校」行、および「稲毛ヨットハーバー」行で約10分、「磯辺8丁目」下車徒歩3分



〒261-0012 千葉市美浜区磯辺3丁目31番1号
TEL.043-277-7711 FAX.043-278-7482

<http://www.city.chiba.jp/byoin/kaihin/kaihintop.html>



November / 2018

千葉市立海浜病院

CHIBA KAIHIN MUNICIPAL HOSPITAL

病院案内



市民に選ばれる病院を目指して

わたしたち千葉市立海浜病院は千葉市民の皆さまのご期待に応える社会的責務がございます。なかでも救急医療体制の充実が市立病院の大きな使命であり、365日、千葉市医師会医師とともに協力して責務を果たして参ります。現在、千葉市民の皆さまの小児診療、内科・外科診療の一次～二次救急の拠点として夜間救急外来を千葉市医師会とともに提供しております。受診者の多い小児救急診療では平成27年からトリアージを実施し適正な救急外来対応を心がけております。

当院は地域災害拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域小児科センター、千葉県がん診療連携協力病院、地域医療支援病院として、胎児から高齢者まで、年齢を問わず、市民の皆さまの健康に係るご不安やご心配を受け止め、安全で安心な診療を精一杯提供させていただきたいと思っております。

自立した千葉市立病院として市民の皆さまからご信頼と評価をいただける病院を目指し、職員一同、努力して参ります。



千葉市立海浜病院
病院長
寺井 勝

病院理念

市民に選ばれる市民のための安心で心あたたまる病院

1. 安全で良質な医療を提供し、市民の健康といのちを守ります。
2. 患者さんの人格、権利とプライバシーを尊重します。
3. 地域医療、救急医療、災害医療、高度専門医療の充実に努めます。
4. 地域の医療機関との連携、機能分担を図ります。
5. 医療関係者に教育および研修の場を提供します。
6. 公立病院として健全な経営にむけて努力します。

基本方針

患者さんの権利

1. どなたでも安全で良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 誰もがひとりの人間としてその人格、価値観を尊重される権利があります。
3. 病状、治療の内容などについて理解できる言葉や方法で十分な説明と情報提供を受け、納得できるまで質問する権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方針などを自らの意志で選択、決定する権利があります。
5. 医療上の個人情報とプライバシーを厳密に保護される権利があります。
6. 自分の診療情報の開示を求める権利があります。
7. 診断や治療について他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利、他の医療機関に転医する権利があります。

施設概要

名称 / 千葉市立海浜病院
所在地 / 千葉市美浜区磯辺3丁目31番1号
病床数 / 293床
敷地面積 / 28,186.02 m² 建築面積 / 8,499.71 m²

診療科

内科／総合内科／循環器内科／消化器内科／呼吸器内科
内分泌内科／糖尿病・代謝内科／神経内科／感染症内科／小児科
小児外科／新生児科／外科／消化器外科／乳腺外科／泌尿器科
心臓血管外科／脳神経外科／整形外科／形成外科／産科
婦人科／耳鼻いんこう科／眼科／リハビリテーション科／麻酔科／
放射線治療科／放射線診断科／病理診断科

診療サポート部門

看護部／薬剤部／放射線科／臨床検査科／臨床工学科
リハビリテーション科／栄養科
医療安全室／地域連携室
※夜間応急診療(内科・小児科)

指定・認定

保健医療機関
国民健康保険療養取扱機関
生活保護法指定医療機関
未熟児養育医療機関(母子保健法)
結核予防法指定医療機関
被爆者一般疾病医療機関(原子爆弾被爆者の医療に関する法律)
原子爆弾被爆者健康診断(一般・精密)医療機関
労災保険指定医療機関(労働者災害補償保険法)
指定自立支援医療機関(育成医療・更生医療)(障害者自立支援法)
救急告示病院
地域災害拠点病院(地域災害医療センター)
公務災害医療機関(地方公務員災害補償法)

主な沿革

- ◆ 昭和59年10月1日
千葉市立海浜病院開院(一般病床 185床)
- ◆ 昭和60年4月1日
夜間救急初期診療部(夜救診)開設
一般病床を55床増床し240床とする
- ◆ 昭和61年3月28日
一般病床を61床増床し301床とする
- ◆ 昭和63年4月1日
オープンシステム実施
- ◆ 平成5年1月
院内保育所の開設
- ◆ 平成11年10月1日
院外処方実施
- ◆ 平成15年5月1日
千葉市夜間外科系救急医療体制開始
- ◆ 平成16年3月31日
臨床研修病院指定証および臨床研修協力施設証の交付を受ける
- ◆ 平成19年3月19日
日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver. 5.0)の認定を取得
- ◆ 平成19年4月1日
後期臨床研修医制度を開始
- ◆ 平成21年1月1日
産科医療保障制度への加入
- ◆ 平成22年9月15日
臨床研修病院(基幹型)の指定を受ける
- ◆ 平成24年4月6日
日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver. 6.0)の認定を取得
- ◆ 平成24年8月31日
千葉県がん診療連携協力病院(胃がん・大腸がん・乳がん)の指定を受ける
- ◆ 平成25年8月6日
地域支援病院の名称使用の承認を受ける
- ◆ 平成26年4月1日
DPC対象病院の指定を受ける
一般病床を14床減床し287床とする
- ◆ 平成29年4月7日
機能種別版評価項目3rdG(Ver. 1.1)の認定を取得
- ◆ 平成29年10月1日
NICUを6床増床し293床とする

千葉県DMAT指定医療機関
地域医療支援病院
特定疾病医療機関
小児慢性特定疾患医療機関
地域周産期母子医療センター
地域小児科センター
千葉県がん診療連携協力病院
マンモグラフィ検診施設画像認定施設
乳房再建エキスパンダー実施施設
乳房再建インプラント実施施設
日本静脈経腸栄養学会(栄養サポートチーム)稼働認定施設
日本栄養療法推進協議会NST稼働施設
日本静脈経腸栄養学会(NST)実地修練認定教育施設
厚生労働省臨床研修指定病院(基幹型・協力型)

各科紹介

内科

消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科の専門診療を中心に、各専門医が協力して内科全般の診療を行っています。また呼吸器内科は週2回、神経内科は週1回の外来診療を千葉大学医学部附属病院の派遣医師が担当しています。

◆ 診療対象となる主な疾患

消化器疾患／循環器疾患／呼吸器疾患／糖尿病代謝疾患／内分泌疾患／その他内科一般

※消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科は各科の欄を参照

◆ 主な研修施設認定

日本内科学会認定制度教育関連施設／日本消化器病学会認定施設／日本消化器内視鏡学会指導施設／日本胆道学会認定指導施設／日本循環器病学会認定循環器専門医研修施設／日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設／日本呼吸器学会認定施設

循環器内科

地域の医療機関と連携して循環器疾患の入院診療を担うとともに、PCIやPTAなどのカテーテル治療やペースメーカー手術などの専門治療を行っています。

◆ 診療対象となる主な疾患

虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞のPCI治療)
心臓弁膜症／心筋症／心不全
不整脈(洞不全症候群・房室ブロックのペースメーカー治療)
閉塞性動脈硬化症(PTA)
肺動脈血栓栓症(IVCフィルター) など
成人先天性心疾患

◆ 各医師の主な資格

日本内科学会認定内科医／総合内科専門医・指導医
日本循環器学会専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医・名誉専門医

呼吸器内科

千葉大学医学部附属病院の派遣医師が週2回外来診療を行っており、高度な専門治療を要する場合は適切な医療機関を紹介させていただきます。

◆ 診療対象となる主な疾患

呼吸器感染症(肺炎、膿胸、肺真菌症、抗酸菌症など)
胸部腫瘍性疾患(肺癌など)
気管支喘息／COPD／気胸／間質性肺炎 など

感染症内科

内科、外科、小児科をはじめとした院内各科や病棟、検査部門と協力して院内各科を受診された患者様の感染症診療についてサポート、ICT(感染制御チーム)と協力して院内感染予防対策の立案・実施・指導、AST(抗菌薬適正使用チーム)と協力して抗菌薬適正使用に必要な各種調査・評価・報告を行います。

◆ 各医師の主な資格

感染症専門医

消化器内科

消化器疾患全般について専門的診療を行っており、救急医療にも対応しています。検査、治療技術の向上に努力しており、充実した診療体制になっています。

◆ 診療対象となる主な疾患

消化管(食道、胃、大腸)の早期癌(EMR、ESD など)
胃潰瘍／十二指腸潰瘍などの消化管出血
潰瘍性大腸炎／クローン病など炎症性腸疾患
急性胆嚢炎／急性胆管炎／急性膵炎／慢性膵炎(ERCP、EUS など)
胆管癌／胆のう癌／膵臓癌(手術が困難な症例における内視鏡的ステント留置術、化学療法、放射線療法など)
慢性肝炎／肝硬変／肝細胞癌(RFA、TACE など)

◆ 各医師の主な資格

日本内科学会認定医／総合内科専門医・指導医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医／日本胆道学会指導医
日本肝臓学会認定肝臓専門医／日本超音波学会認定超音波専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

糖尿病・代謝・内分泌内科

様々な糖尿病や脂質異常症などの代謝や甲状腺などの内分泌に関連する疾患に関する治療を行っています。

◆ 診療対象となる主な疾患

糖尿病(1型、2型、妊娠糖尿病、膵性糖尿病など)
甲状腺機能異常症(Basedow 病や橋本病など)
脂質異常症

◆ 各医師の主な資格

日本内科学会認定内科医／総合内科専門医・指導医
日本内分泌学会専門医
日本糖尿病学会専門医

外科・消化器・乳腺外科

消化器癌、乳癌といった悪性疾患、肛門疾患、ヘルニア等に対して幅広く外科治療を行っています。また外科系救急2次病院として、腹部救急症例に対して緊急手術も行っており、千葉市の外科系救急医療を担っています。

◆ 診療対象となる主な疾患

消化器癌(食道癌、胃癌、大腸癌、肝癌、膵臓癌、胆嚢癌、胆管癌等)
乳癌／GIST／胆石症／痔核／痔ろう等の肛門疾患／ヘルニア
急性虫垂炎／消化管穿孔／腸閉塞症等の腹部救急疾患
炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病など)

◆ 各医師の主な資格

日本外科学会指導医・専門医／日本消化器外科学会指導医・認定医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本乳癌学会乳癌専門医／日本静脈経腸栄養学会認定
TNT講師・NST認定医／検診マンモグラフィ読影認定医師
日本内視鏡外科学会技術認定証／日本大腸肛門病学会指導医・専門医
日本消化器視鏡学会専門医 など

脳神経外科

非常勤医師による外来診療を行っています。

泌尿器科

泌尿器領域の臓器(腎・尿管・膀胱・前立腺・尿道・男性生殖器)に生じる疾患や機能障害について診断・治療を行っています。千葉市前立腺がん検診の2次精密検査も行っています。

手術治療においては低侵襲なホルミウムレーザーを使用した前立腺肥大症手術(HoLEP)、尿路結石内視鏡手術(TUL・f-TUL・PNL)を中心に標準治療を行っています。

高度な医療機器を使用した癌の手術(ロボット補助下の腹腔鏡手術など)を要する場合は、がんセンター等の適切な医療機関を紹介いたします。

◆ 診療対象となる主な疾患

前立腺肥大症、過活動膀胱、神経因性膀胱、尿道狭窄症、尿道脱、腎のう胞、良性腎腫瘍、尿路結石症(腎結石、尿管結石、膀胱結石)
尿路性器感染症(腎盂腎炎、腎膿瘍、膀胱炎、前立腺炎、尿道炎、亀頭包皮炎)、外陰部壊死性筋膜炎
尿路悪性腫瘍(腎癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、尿道癌)、尿管癌、前立腺癌、陰茎癌、精巣癌
腎外傷、尿路性器外傷(尿管損傷、膀胱破裂、尿道損傷、陰茎外傷、陰のう外傷、精巣破裂)

◆ 各医師の主な資格

日本泌尿器科学会専門医・指導医

小児科

小児科はこども全体を診る、そして家族を支援する総合的な診療を行う科です。当院は千葉市の夜急診、休日診、1次医療機関、救急隊からの内因及び外因の救急患者さんを随時受け入れる体制を整えています。また一般小児外来のほか、専門外来を有し、地域から精査が必要となった子どもたちを受け入れています。特に食物経口負荷試験を積極的にっており、件数は全国でも上位になります。

◆ 診療対象となる主な疾患

呼吸器疾患、消化器疾患、アレルギー疾患(気管支喘息、食物アレルギーなど)、神経疾患(てんかん、脳症など)、川崎病、循環器疾患(先天性心疾患、不整脈)、代謝疾患(遺伝性疾患、糖尿病など)、内分泌疾患、こどもの救急疾患(外傷を含む)

◆ 各医師の主な資格

日本小児科学会専門医・指導医／日本小児神経学会専門医／日本感染症学会専門医・指導医／日本アレルギー学会専門医／日本循環器学会専門医／日本小児循環器学会専門医／日本救急医学会専門医／日本集中治療医学会専門医／日本内分科学会専門医・指導医／BLSプロバイダー・PALSプロバイダー

小児外科

成長・発達の上にある発生学的、形態的、機能的に特徴的な小児に特徴的な外科疾患を扱う診療科です。近隣高次医療機関との連携を図っております。

◆ 診療対象となる主な疾患

小児外科では、0歳から15歳までの外科疾患を扱います。(整形外科疾患、形成外科疾患、脳外科疾患、心臓血管外科疾患は除く)

主な疾患:鼠径ヘルニア、停留精巣・移動精巣、臍ヘルニア、急性虫垂炎などの急性腹症

その他、消化器疾患、泌尿生殖器疾患、呼吸器疾患、先天性疾患、小児悪性腫瘍など、多岐にわたる疾患の治療を行っています。

◆ 各医師の主な資格

日本外科学会専門医／日本小児外科学会専門医／がん治療認定医／小児がん認定外科医



新生児科

病気や未熟性を持って生まれた新生児を治療する科で、地域周産期母子医療センターとして24時間周産期救急を受け入れ、人工呼吸をはじめとした集中治療を行っています。

◆ 診療対象となる主な疾患

超低出生体重児／極低出生体重児／低出生体重児
呼吸障害（呼吸窮迫症候群、胎便吸引症候群など）
新生児仮死／中枢神経疾患（けいれん、頭蓋内出血など）
感染症／循環器疾患（先天性心疾患、動脈管開存症など）
黄疸／血液凝固異常／先天奇形／消化器疾患

◆ 各医師の主な資格

日本小児科学会専門医・指導医
日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医
日本小児神経学会専門医
新生児蘇生法普及事業インストラクター

整形外科

骨・関節などの骨格系とそれを取り囲む筋肉やそれらを支配する神経系からなる「運動器」の機能的改善を重要視して治療を行っています。

◆ 診療対象となる主な疾患

手の外科／上肢疾患（腱鞘炎、手根管症候群など）

◆ 各医師の主な資格

日本整形外科学会認定整形外科専門医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
日本手外科学会専門医

こどもの整形外科外来

成長段階にある小児の運動器官の問題点を評価し、手術的治療の必要な小児は近隣の高次医療機関との連携を図っております。

◆ 対象となる主な疾患

斜頸、先天性股関節脱臼、大腿骨頭すべり症、先天性内反足や内転足、尖足、上腕骨上骨折などの小児の骨折、外傷、脊柱側弯症、先天性の運動器疾患

◆ 各医師の主な資格

日本整形外科学会専門医／日本リウマチ学会専門医／日本リハビリテーション学会専門医

婦人科

外来では器質的な疾患、女性の年齢的な変化に伴う疾患、骨盤内感染症、不妊検査など婦人科疾患全般に対応しています。手術は良性疾患を主に子宮全摘術、筋腫核出術、付属器摘出術、LEEP手術を行っています。

◆ 診療対象となる主な疾患

子宮疾患（子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症、子宮頸がん、子宮体がん）
卵巣疾患（卵巣のう腫、卵巣腫瘍）
骨盤臓器脱（子宮脱、膀胱瘤、直腸瘤）
骨盤内感染症（付属器炎、骨盤腹膜炎、クラミジア感染症など）
更年期障害／思春期疾患（月経異常、月経困難症など）

◆ 各医師の主な資格

産婦人科専門医

形成外科

身体表面の形態・機能を修復する外科であり、先天性および後天性の変形、腫瘍、“キズ”、“キズあと”などに幅広く対応しています。乳癌術後の乳房再建、眼瞼下垂症、体表面の先天異常、外傷、熱傷、瘢痕・ケロイド、母斑、血管腫などを治療します。

◆ 診療対象となる主な疾患

眼瞼下垂症（上まぶたの下がり）
乳房再建（自家組織再建・人工物再建）

顔面外傷
顔面神経麻痺による変形

熱傷（やけど）
瘢痕（きずあと）・ケロイド・瘢痕拘縮（ひきつれ）
皮膚皮下腫瘍、母斑

耳の先天異常（折れ耳、埋没耳、耳瘻孔、副耳など）
手足の先天異常（多指（趾）症、合指（趾）症など）
難治性皮膚潰瘍（治りにくい創）、褥瘡（床ずれ）

◆ 各医師の主な資格

日本形成外科学会専門医

産科

新生児科と連携し、早産児や低出生体重児の出生が予測される妊婦さんを重点的に診療しています。また、内科とも連携して内科疾患を合併した妊婦さんも診療しています。

◆ 診療対象となる主な疾患

多胎妊娠
妊娠高血圧症候群
切迫早産
早期前期破水

◆ 各医師の主な資格

産婦人科専門医
周産期専門医（母体・胎児）
臨床遺伝専門医
母体保護法指定医

耳鼻いんこう科

耳鼻いんこう科疾患の診療を行っています。耳、鼻、のど、頸部の手術を行っています。小児難聴の指定医療機関です。

◆ 当院で行っている主な手術・治療

鼓室形成術、鼓膜形成術、乳突洞削開術、外耳道骨腫切除術、先天性耳瘻孔摘出術、鼓膜チューブ留置術、外リンパ嚢閉鎖術
内視鏡下副鼻腔手術、内視鏡下副鼻腔腫瘍手術（Endoscopic medial maxillectomy）、内視鏡下前頭洞手術（DrafⅡ）、内視鏡下鼻涙管手術、鼻中隔矯正術、下鼻甲介粘膜下骨切除術、眼窩底吹き抜け骨折手術
頸部郭清術、甲状腺腫瘍手術（良性・悪性）、耳下腺腫瘍手術、顎下腺腫瘍手術、喉頭癌手術、正中頸のう胞（甲状舌管のう胞）摘出術、そのほか頸部腫瘍手術
内視鏡下唾石摘出術、顎下腺唾石口内法手術
直達喉頭鏡手術（ラリンゴマイクロ手術）、扁桃摘出術、アデノイド切除術
頭頸部がんの放射線・化学療法、甲状腺癌に対するI-131による残存甲状腺破壊（アブレーション）、OK-432による硬化療法

◆ 各医師の主な資格

日本耳鼻咽喉科学会指導医 1名
日本耳鼻咽喉科学会専門医 1名

麻酔科

手術中、患者さんのそばにいて、麻酔を担当し、バイタルサインを維持します。手術を受けた方が、苦痛を感じることなく、無事に病室へお帰りにできるよう努めています。専門医が緊急手術に備え、毎日待機をしています。外科手術では、イレウス、消化管穿孔、急性虫垂炎の手術、周産期領域では、胎盤剝離や、出血を伴う前置胎盤に対する緊急帝王切開を担当しています。

◆ 各医師の主な資格

日本麻酔科学会専門医 日本麻酔科学会指導医
ACLS プロバイダー PALS プロバイダー
JB-POT 等

眼科

新生児から高齢者まで幅広い年齢にわたり眼科疾患全般の診療を行っています。緑内障・増殖糖尿病網膜症・網膜剝離・眼窩疾患などの手術治療に関しましては大学病院などへのご紹介をしています。

◆ 診療対象となる主な疾患

白内障／緑内障／糖尿病網膜症／網膜静脈閉塞症
網膜動脈閉塞症／加齢黄斑変性／ぶどう膜炎／強膜炎
視神経疾患／斜視弱視／先天性鼻涙管閉塞症／未熟児網膜症など

◆ 各医師の主な資格

日本眼科学会認定眼科指導医・専門医



放射線治療科

悪性腫瘍一般について、根治的治療、症状緩和のための治療など、目的に応じて広く対応しております。臨床各科と協力の上、集学的治療が可能です。

◆ 診療対象となる主な疾患

食道がん（化学放射線療法）
膵がん（化学放射線療法）
乳がん（術後照射）など

◆ 各医師の主な資格

日本医学放射線学会専門医（非常勤医師）
日本がん治療認定医機構認定医（非常勤医師）

病理診断科

細胞診断、生検および手術検体の組織診断、術中迅速診断、病理解剖を行っています。日本臨床細胞学会の認定施設です。

◆ 診療対象となる主な疾患

院内各科から提出される検体すべてが対象となり、疾患の範囲は全身に及びますが、消化器疾患や乳腺疾患が多い傾向にあります。

◆ 各医師の主な資格

日本病理学会専門医
日本臨床細胞学会専門医
日本病理学会専門医研修指導医

放射線科

診療放射線技師15名が一般撮影・エックス線TV検査・血管撮影・CT検査・MRI検査・核医学検査(RI内用法を含む)を行っております。各種学会および研修会・研究会に積極的に参加し、最新の知識・技術の習得および更なる認定資格を取得するために努力しております。知識や技術だけでなく、患者さんが安心して検査や治療を受けられる環境を提供できるように気配り・心配りを実践しております。

◆ 各技師の主な資格

第一種放射線取扱主任者／救急撮影認定技師
エックス線CT認定技師／検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師／放射線治療認定技師／放射線治療品質管理士
医療情報技師

臨床工学科

臨床工学技士業務は多岐にわたる業種として知られています。その内容は集中治療、人工心肺、補助循環、血液浄化、心・血管カテーテル検査・治療、ペースメーカー、呼吸療法、医療機器保守点検など様々です。そのすべての業務が患者様の生命に直結することから365日24時間体制で待機し、時間と業務を問わず駆けつけて患者救命に全力を尽くします。いったん業務が始まればその業務が終了するまで生命維持管理装置操作に専念し救命に貢献することが臨床工学技士の業務です。また、災害派遣医療チーム(DMAT)の一員としても活動しております。

◆ 各技士の主な資格

体外循環認定士
第2種ME技術
医療機器安全管理責任者
日本DMAT(業務調整員)

栄養科

入院および外来の患者さんに栄養食事指導を行っています。対象疾患は、糖尿病、肥満、脂質異常症、食物アレルギー、心疾患、消化管術後、消化管疾患など様々です。管理栄養士を病棟担当とし、入院患者さんの栄養状態の評価や食事内容の相談を行い、個々の患者さんに合った栄養療法を提案・実施しています。また、エネルギー調整食や食物アレルギー対応食、胃切除食など、病態に合わせた食事を提供しています。栄養サポートチーム(NST)活動を通じて、多職種で連携をとり活動しています。また、日本静脈経腸栄養学会「NST専門療法士」の資格取得をサポートしています。

◆ 管理栄養士の主な資格

NST専門療法士／日本糖尿病療養指導士

臨床検査科

血液検査・尿一般検査および心電図やエコー検査等の生理検査や聴覚検査を実施するとともに、細菌微生物検査・病理細胞診検査・輸血検査・生化学免疫検査等の検査を行っております。正確で迅速な検査を行うために、日々の精度管理と年数回の外部精度管理を実践し、常に最新の検査技術と知識を得るために努力しております。患者さんに安全と安心を提供できるように日々の臨床検査業務を行っております。

◆ 各技師の主な資格

細胞検査士／言語聴覚士／認定心電検査技師／認定超音波検査士
認定臨床微生物検査技師／感染制御認定臨床微生物検査技師
認定輸血検査技師／二級臨床検査士(血液学、血清学、微生物学、病理学、臨床化学、循環生理学、呼吸生理学) など

リハビリテーション科

がん患者(周術期から緩和まで)や内科疾患(消化器・呼吸器・循環器)、新生児・小児科疾患(運動発達・精神発達)、整形外科疾患の患者さんを主な対象としています。心身の機能回復や廃用予防・改善、生活の質の向上を目指し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士によるリハビリテーションを提供しています。

◆ 施設基準

がん患者リハビリテーション
脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅱ)
廃用症候群リハビリテーション(Ⅱ)
呼吸器疾患リハビリテーション(Ⅰ)
運動器疾患リハビリテーション(Ⅰ)

◆ 各療法士の主な資格

呼吸療法認定士(3学会認定)
福祉住環境コーディネーター(2級)



薬剤部

薬剤部では「安全な医療を提供し、信頼される薬剤師業務を遂行する」を目標として、調剤業務、注射薬調剤業務、院内製剤や抗がん剤などの製剤調整業務、医薬品管理業務、DI業務を行っています。病棟においては薬剤管理指導業務、病棟薬品管理業務、病棟薬剤業務実施加算業務を行っています。外来ではがん患者さんへの指導や手術・検査前の内服中止薬についての指導なども行っています。また後輩の育成のため、薬学部5年生の病院実務実習の受け入れも行っています。

◆ 主な資格

がん薬物療法認定薬剤師／感染制御認定薬剤師／妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師／日本薬剤師会研修センター認定実務実習指導薬剤師／栄養サポートチーム専門薬剤師／日病薬病院薬学認定薬剤師／日本薬剤師会研修センター研修認定薬剤師／日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師／日本DMAT隊員／千葉県糖尿病療養指導士



地域連携室

院内の医師、看護師、コ・メディカルにとどまらず、地域の医療、介護、福祉、行政などの関係機関との多職種連携を図り、地域完結型の医療提供を目指しています。地域包括システムの中で患者さんとその家族が住み慣れた地域で安心した生活が送れるように支援します。

◆ 主な仕事

退院調整／紹介受診予約および診療情報文書管理／患者相談／地域連携バス管理／行政・介護・福祉関係機関との連絡調整／地域の医療機関との連絡調整

◆ 職員構成

室長／社会福祉士
看護師／事務員

夜急診

当院には千葉市夜間応急診療(夜急診)を併設しており、夜間における内科および小児科の急病患者さんに対して、年中無休で応急診療(初期診療)を行っています。

受付時間 平日 18:30～翌朝 5:30 土・日・祝日・年末年始 17:30～翌朝 5:30

◆ 診療対象となる主な疾患

- 外来診療で対応可能な内科・小児科の疾病の診療を行っています。
 - 入院・加療などが必要な場合は、二次医療機関に搬送しています。
 - 小児科では、トリアージを実施し、緊急度の高いお子さんを優先的に診察しています。
- (実施時間 18:30(土・日・祝日・年末年始は 17:30)～22:00)

◆ その他

夜急診は千葉市医師会、千葉市薬剤師会、千葉県診療放射線技師会、および大学病院などの協力により運営しています。



看護部

千葉市立海浜病院看護部は、病院理念を基に市民の皆様に信頼される質の高い看護を提供しています。

当院は、地域医療支援病院として近隣医療機関と連携し、地域の医療を担う中核病院としての役割を担っています。また、地域周産期母子医療センター・地域小児科センターを併設、小児から高齢者までを支え、がん診療連携協力病院として高度ながん診療を提供しております。さらに地域災害拠点病院としてDMATも組織しております。

超高齢者割合が年々増加する現状では、地域を見据え、在宅から外来・病棟そして外来から在宅へと継続した看護提供が必要になってきます。地域との連携を深め、継続した看護を提供できる自律した看護師育成と、その質向上に努め「看護でも選ばれる病院」を目指し、今後も努力していきます。



看護師・看護学生の皆さんへ

今年度キャリア開発支援プログラムを改定しました。激変する社会・医療情勢に対応できるジェネラリスト・スペシャリスト育成の内容になっています。

医療の高度化・専門化に対応するため11分野の認定看護師や各学会認定資格など、リソースナース育成とその活動を支援しています。

また、いきいきと働きつづけられる職場づくりに力を入れ、勤務交代の選択(2交代・3交代制)や、院内保育の充実など働きやすい職場づくりに努力しています。

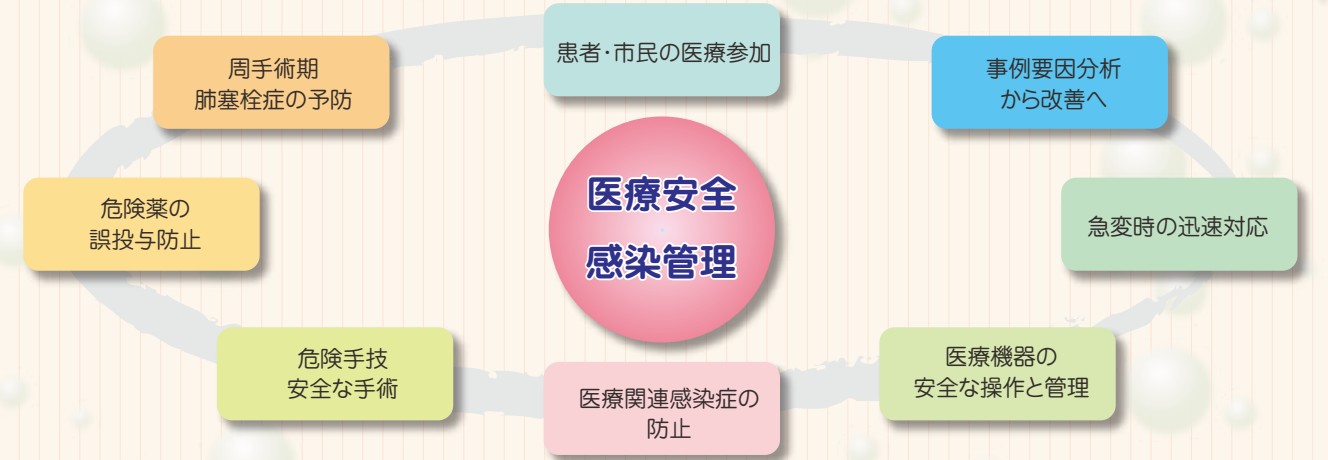
看護師・看護学生の皆さん、一緒に働きませんか。

どうぞインターシップや病院見学会にお越し下さい。明るい看護部を感じてください。

看護部長 久保 ひろみ



医療安全室



医療安全室は、患者さんと医療者がともに安心して治療やケアに専念できる環境づくりを推進します。メンバーはそれぞれの役割に誇りと責任をもち、日々取り組んでおります。患者さんと医療を支える全ての職員が良きパートナーとなることが医療安全の向上につながります。どうぞよろしくお願いいたします。

医療安全室長 須田 峰子



◆ 医療安全担当副院長

“安心して安全な医療とは何か”を見える化し、当院の医療の質の向上を促進するとともに、患者さんが安心して心あたまる医療を受けられる病院を目指します。

◆ 医療安全管理者(副医療安全室長)

医療安全管理に関する組織の構築や運営、情報収集や分析、職員への教育や研修などを通し、病院の安全文化を創り出すことに努めています。

◆ 医療対話推進者

患者さんやご家族から寄せられた相談などに円滑な対話の橋渡しができるように心がけています。

◆ 医薬品安全管理責任者

医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集や提供、改善のための活動を行っています。

◆ 医療機器安全管理責任者

安心して医療機器が使用できるよう日々の点検を行うとともに、全国から寄せられる医療機器の回収情報や安全情報を院内スタッフ全員に情報提供できるよう奮闘しています。

感染対策室

感染対策室は、2018年4月より医療安全室から独立し、新たに設置されました。病院には、さまざまな感染症の患者さんが来院、入院されます。感染症とその原因となる病原体、治療を専門的に管理し、対策を行うことが感染症の患者の適切な治療と院内感染の予防につながります。ICTやASTと連携しながら院内の感染対策に努めて参ります。

感染対策室長(副院長) 北 和彦



◆ 感染管理者(感染症内科部長)

“現在”と“未来”の感染症患者さんが、有効かつ安全な治療を受けられるよう各科と協力していきます。

◆ 感染管理専従看護師(感染管理認定看護師)

病院にかかわる全ての人々を感染源から守ることを目標に感染防止対策の知識・技術の提供と教育に努めています。

◆ 感染防止専任薬剤師(感染制御認定薬剤師)

抗菌薬を使用する患者さんに適切な薬物療法が行われるように提案や情報の提供、薬剤の管理をします。

◆ 感染防止専任臨床検査技師(感染制御認定臨床微生物検査技師)

感染症の原因、薬剤耐性菌などを速やかに検出・報告し、迅速に感染対策が行われるよう努めています。

地域医療

地域医療の中心施設として皆様の健康と安全を守ります。

当院は、地域の医療機関、介護福祉施設等との連携による包括的なサービスを提供し、これからも地域の皆様に信頼される病院を目指します。
また、24時間体制による救急医療、小児医療、周産期医療、および災害時医療に力を入れ、地域医療の拠点病院としての役割を果たしてまいります。

医療連携

当院は、開院当初から千葉市医師会とのオープンシステムの締結を行い、地域医療機関と密接な関係を構築して医療を行ってきました。国の医療政策の変遷とともに医療機関の機能分担が明確化され、現在は地域の中核的な急性期病院としての役割を担っております。一方、地域住民にとっては、この美浜地区に医療機関が少ないところからの病院であり、「かかりつけ病院」としての役割も担っています。

このような状況の中で、急性期医療の基幹病院としての機能を持たせながら、患者さんの視点に立った医療サービスを提供していくために、なお一層地域医療機関との連携を深め「病院完結型医療」から「地域完結型医療」を目指していく必要があります。紹介・逆紹介を介し、当院の医師と地域の医療機関（かかりつけ医）が互いに連携しながら共同で継続的に治療を行う医療連携は、病院の理念である患者さん中心の「市民に選ばれる市民のための安心で心あたたまる病院」を具現化する上でも欠かせないものです。この医療連携事業を円滑に行うため、当院は地域連携室を設置しております。

地域周産期母子医療センター

当院は、2010年5月に千葉県の地域周産期母子医療センターとして認定を受けました。産科は切迫早産などの専門的な二次医療を、新生児科は身体機能が未熟な状態で生まれた赤ちゃんの治療を行い、千葉市二次医療圏で唯一、365日・24時間体制で新生児の三次医療を担っています。現在MFICU3床・NICU21床・GCU25床で運用しております。



相談業務

病気になると、健康な時には考えていなかったような問題が生じてきます。患者さんが安心して療養に専念できるように、患者さん・ご家族と共に考え、問題解決に向け医療、福祉、保健、社会保障などの視点から相談・助言を行っています。

退院支援と地域包括システムとの連携

当院で治療された患者さんが退院後も安心して在宅療養できるように、入院前からスタッフと共に退院後の生活や療養についてカンファレンスを行っています。退院支援のニーズの高い場合には主治医や担当看護師のみならず、薬剤師、理学療法士、栄養士など院内の多職種がそれぞれ専門知識を活かし協働して、患者さん・ご家族と共に相談しながら進めています。

退院後の介護支援や継続の必要な医療行為がある場合は、地域包括（千葉市あんしんケアセンター）をはじめ往診医、訪問看護、訪問薬剤師、ケアマネージャー介護事業所など地域の社会資源（地域包括システム）を有効活用し、退院後の療養生活に支障がないように関係機関と連携し、切れ目のない医療介護の実現に努めています。

また、当院で必要な専門的治療が終わり、引き続き療養型病院や回復リハビリ病院等、他の医療機関へ転院する場合、あるいは老人保健施設や介護福祉施設を利用される場合は、病院間、施設間での引き継ぎを安全かつ確実にしています。

地域小児科センター

地域小児科センターとして他の医療機関と連携し、24時間体制で入院が必要な子ども達を受け入れ、重症の子ども達に最善の医療を提供し、地域医療に貢献できるよう努めています。小児科専門医を育成する基幹型病院に認定されており、小児医療に関わる人材の育成と交流も大切な役割となっています。これからも地域の子ども達と家族が安心して過ごせるように必要とされる診療機能を整備していきます。

海浜病院災害派遣医療チーム(DMAT)

当院は、地域災害拠点病院に指定されており、災害時における初期救急医療機能を備えています。2014年1月には千葉県DMAT指定医療機関の指定を受け、DMATを編成しました。大規模災害や多数傷病者の発生に備え、日々訓練や研修を重ねています。



訓練風景



九都県市合同防災訓練

多数傷病者発生合同災害訓練



検見川浜

がん治療

高度な医療機器・技術でより速く、よりの確な医療が可能に。

2014年4月に放射線治療科が新設され、最新式の放射線治療機器を導入いたしました。従来より行われていた手術、化学療法と併せ、当院でがん治療の三本柱がそろったこととなり、幅広い治療を行うことができるようになりました。

リニアック（放射線治療装置）

放射線治療科の稼働開始に当たり、多機能の放射線治療機器（True Beam-STx）を導入しております。当院の放射線治療装置の特徴として、従来機種と比べ、より精細な形状で、より正確な照射位置への放射線治療が可能になったことが挙げられます。



CT

2014年3月に最新の80列マルチスライスCTが導入されました。この装置はすべての検査において0.5mmの非常に薄いデータを取得することが可能であり、画質の改善による診断能力の向上と、撮影時間および画像計算時間の短縮によりスループットの向上を実現しています。



MRI

MRIが稼働を始めたのは1996年からです。今までに約5万人の患者様の検査に携わってきました。2018年導入の現行装置では磁場の安定度も高くなり、歪みの少ない精度の高い情報を提供できるようになっています。



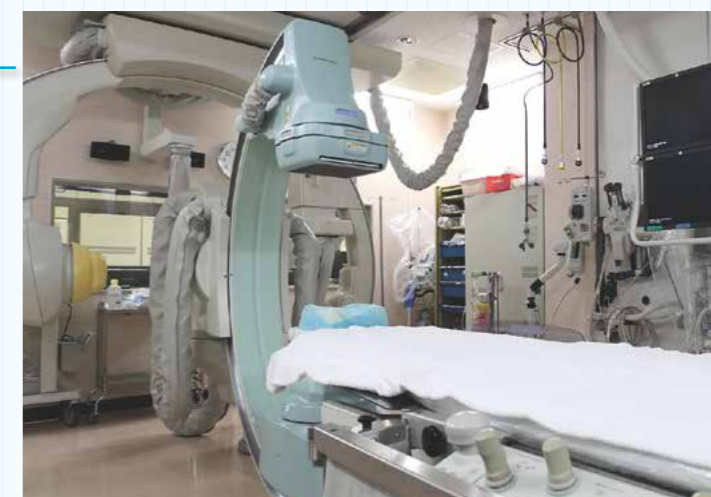
RI（核医学検査）

核医学検査は、目的とする臓器・種類ごとに微量の放射性同位元素を含む専用の医薬品を用い、臓器や病変に取り込まれた薬から放出される放射線を特殊なカメラで見る検査です。2011年から、3代目となるこのカメラで機能画像を提供しています。



血管撮影

1台の寝台で大視野と小視野での血管造影に対応するため、2種類3枚の検出器を備えた機器で血管造影検査を行っています。心臓用の小視野検出器は2台の検出器とX線管球で構成されるBiplane撮影に対応しており、1回の造影で2つの方向からの画像を得ることができるため、検査全体での被ばく線量および総造影剤量の低減が図れます。



化学療法



手術

